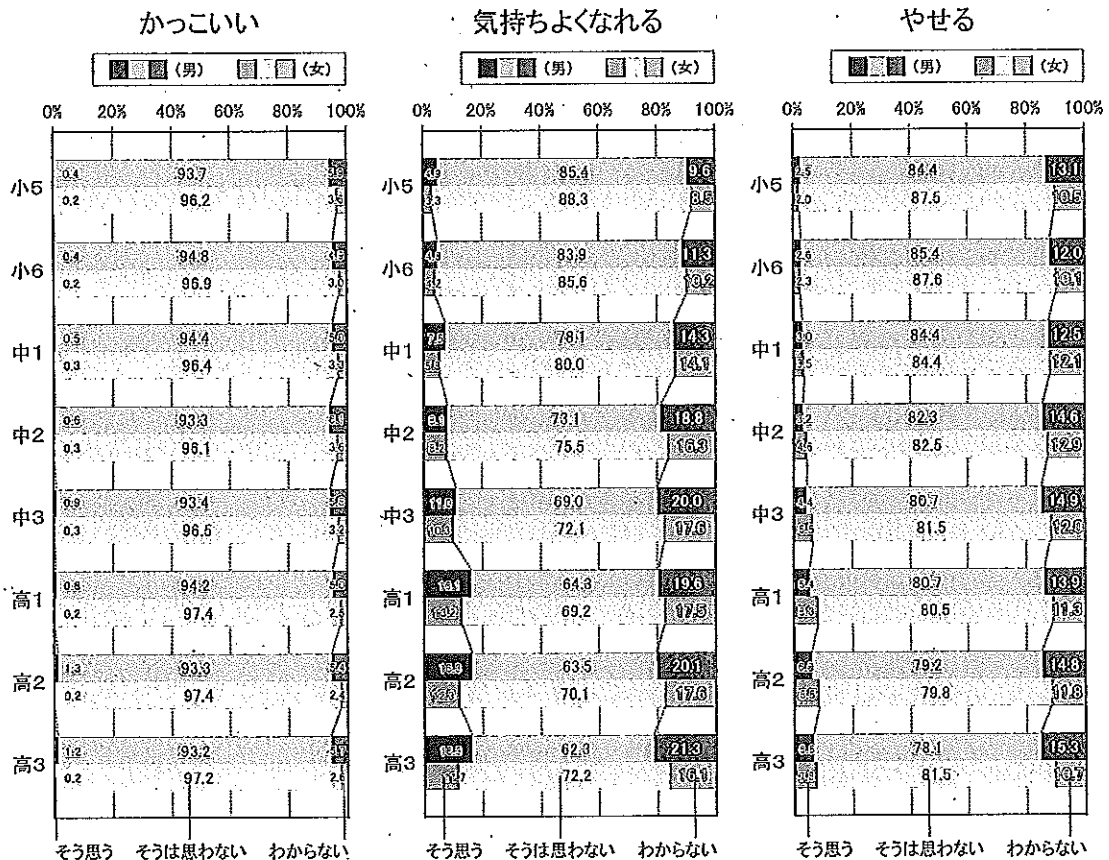


## (2) 薬物についての印象

- 薬物に対して肯定的な印象である「かっこいい」、「気持ちよくなれる気がする」、「やせるのに効果がある」、「眠気覚ましに効果がある」、「1回使うくらいであれば、心や体への害はない」と思うと回答した児童生徒の割合は、男女とも概ね学校種・学年が上がるにつれて高くなる傾向が認められた。
- 肯定的な印象の内、「気持ちよくなれる気がする」と思うと回答した児童生徒の割合が、男女ともにすべての学校種・学年で最も高く、中学校3年生以上では10%を超えていた。また、「やせるのに効果がある」と思うと回答した児童生徒の割合は、女子の方が男子より高かったが、それ以外は男子の方が女子より高かった。
- 薬物に対する否定的な印象である「心や体に害がある」、「犯罪に巻き込まれる」、「使ったり、持っていたりするの悪いことだ」、「1回でも使うと止められなくなる」と思うと回答した児童生徒の割合は高く、男女ともに高等学校1年生段階で概ね85%以上であり、女子の方が男子より高かった。

図Ⅱ-4-(2) 薬物についての印象



出典:文部科学省「平成24年度 薬物等に対する意識調査報告書」